

麻生区区民会議 第15回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年12月2日（月）午後7時00分～午後8時45分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[企画部会委員]
金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、高倉委員、東川委員
[事務局]
鈴木企画課課長、白石係長、麻生
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料
 - ・資料1 安全・安心のまちづくり部会 議事要旨
 - ・資料2 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨
 - ・資料3-1 第4期区民会議報告書（A案）
 - ・資料3-2 第4期区民会議報告書（B案）
 - ・資料4-1 区民会議交流会自己紹介シート資料
 - ・資料4-2 // 取り組み状況説明用資料（案）
 - ・資料4-3 // 出欠表

6 議 事

(1) 安全・安心のまちづくり部会の進捗状況について

高倉副部会長から、モデル事業の進捗状況について説明がなされた。

- ・11月の部会で企画部会の報告を行い、子育てフェスタ等の説明を行っている。
- ・モデル事業開始の時期がずれ込み、夏休み期間を過ぎてしまったため、園田ゼミの学生の参加は難しくなった。
- ・地域での家具の固定対策促進に向け、早野地区を対象に、地区在住の大工さん等にモデル事業を見学してもらうことを検討している。
- ・牛乳パックを加工した緩衝モデル（ハニカム構造）による家具固定について、適切な機会があれば取り入れる。
- ・本日、川崎市家具転倒防止事業を担っているシルバー人材センターの方に実際にモデル事業の様子を見て頂いた。モデル事業での活用の可能性を含めて意見を聴き、今後検討していきたい。
- ・モデル事業協力世帯にアンケート調査を行い、結果を今後の提言広報等に活用する。

【主な意見】

- ・ハニカム構造というのはどういうものか。
→蜂の巣のように正六角形を隙間なく並べた構造。実際には、牛乳パックを三角形にして、それを6個つなげて正六角形にする。家具上と天井の間に隙間なく埋めて面で支え、家具の転倒を防ぐ。耐久性は強いが外見はあまりよくない。
- ・現時点でモデル事業はどのくらい進んでいるのか。
→マンション系が3世帯、戸建て系が4～5世帯。スケジュール通りに進めば12月21日が最終の工事で、アンケートは今年度中の26日までに集まる予定。
- ・早野地区で家具の固定対策促進を調整しているとのことであるが、今後どのような形を想定しているのか。
→将来的に広がる可能性があるかどうかを含め、未知数の状態。初めのとっかかりとして地区の大工さん等に見学して頂く。
- ・モデル事業は普及啓発の部分が特に重要。十分な審議を期待している。

(2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況について

石井部会長から、資料に基づき説明がなされた。

①芸術・文化のまちづくりについて

- ・第3期区民会議のフォローアップでは、新市長の意向を受けて、文化担当官・麻生文化会議の設置目的、担うべき役割、活動の方向性を検討する。また、併せて情報発信・活性化についても具体的方策を検討する。
- ・第4期区民会議の新規提言については、子育てフェスタで、子育て世代が楽しめる芸術文化活動の一覧表示、大学生の若者が参加する場の設置、アンケートでの意見聴取を行い、検討していく。
- ・子育てフェスタのアンケートについて、どの程度まで、芸術文化の内容を入れていくのか検討している。

②子育てしやすい環境づくりについて

- ・提言に関して、休日に親子が遊べる室内施設の拡充や緊急で子どもを預けられる施設の設置、子育て相談体制の充実等について検討を進めている。情報発信、地域の理解など、麻生区の目玉となる提言が出せるよう審議している。
- ・子育てフェスタ参加団体について、11月に開催された認可保育園園長会で菅原委員長が協力の依頼をするなど、現在、委員が手分けして、区内の大学や保育園等、各種団体にあたっている。
- ・第1回の参加申込期限は12月20日に設定。1月15日に参加団体への説明会を開き、その後、区民会議ニュースや市政だより区版3月号での広報を予定している。

【主な意見】

- ・11月に開かれた全体会議の若者が～部会の資料で「子育てしやすい環境のあるまち」の欄の中に「教育の質が高く、介護の充実したまち」と記載されているが、検討をしていないのならば外してはどうか。→部会で検討します。
- ・待機児童ゼロについて近頃大きく取り上げられているが、様々な保育園を訪問してゼロを達成しても質が伴わなければ意味がないことを実感した。子どもを安心して預けられる環境が、保育園に整っているかどうかの視点も大切。また、保育士不足も課題。
- ・今後の方向性として「今までの算出方法による待機児童ゼロ」「新市長の意向による待機児童ゼロ」「区民会議が考えた望ましい姿」を並列にして、分かりやすいものを作ってはどうか。

(3) 区民会議報告書の作成について

事務局より、第1章と第2章の叩き台を提出。前期報告書をベースに作成したA案と文字量を減らし図を多用したB案の二つの案を提示し、内容と今後のレイアウト方針の検討を行った。

【主な意見】

- ・図を多用したB案の方が視覚的に読みやすい。
→情報量が不足していないか。報告書作成の目的は、記録を残すためでもある。
→「第1～3期までの審議の流れ」については、それぞれの期の報告書で詳細に記載しているので、簡略化したB案のままでよいのではないか。もちろん今期の審議経過については、図や表を使いながらも詳細に掲載する必要がある。
- ・「麻生区区民会議とは」に入っているイラストは、現実の区民会議とイメージが異なっていないか。読み手のミスリードを招くのではないか。
→代わりに写真を入れてみてはどうか。
- ・区民会議はそれぞれの期が独立して、課題設定、審議しているなので、その辺を考慮して「第1～3までの審議の流れ」のレイアウトを修正してほしい。
- ・「第4期 審議課題の選定と審議の流れ」は、全体的に内容が不足している。どの様な経緯で課題が抽出され、部会が設定されたのか見えてこない。
→第4期は企画部会が中心となって、区民による区民のための会議として、より

- 区民に身近な会議になるよう努力してきた。その思いが伝わるような内容にしてほしい。
- 全体テーマ「人と人と心をつなぐ地域づくり」が埋没してしまっている。もっと文字を大きく、目立たせてほしい。
 - 企画部会の役割は「区民会議ニュース」だけではない。「広報活動」に修正を。

【決定事項】

- ・今回の意見を B 案に盛り込み、1月の企画部会に再度提出する。
 - ・第3章の各部会の審議と取組みについての原稿は各々の部会で検討し、2月の企画部会に提出する。
- (4) 区民会議交流会について
- 事務局より1月22日に開催される区民会議交流会について説明。次の点を確認した。
- ・参加者の自己紹介シートの作成について
 - 雛形を元に、期日までに委員が作成し、事務局に提出する。
 - ・取り組み状況説明用の資料について
 - 企画部会の内容を、資料の中に盛り込む。
 - 当日は菅原委員長が制限時間内に説明する。
- (5) その他
- ・次回の区民会議ニュースは2月末の発行を予定。2月の企画部会で内容を審議する。